

公明党

松岡 信生 議員



市民病院

市民病院再編統合の場合の進め方や日程は

議員 3月3日開催の最終の検討委員会による再編統合に向けた報告書案を受け、3月末に提出される報告書について、市としてどう取りまとめるのか。また、仮に再編統合を前提とした場合の今後のスケジュールについて伺う。

再編統合の方針となればスピード感を持ち改革を進める

市 再編統合となれば、新病院の医療機能、病床規模、立地と交通アクセス、現病院の跡地利用等に十分に配慮し、市の基本構想の素案に当たる方針を示したい。スケジュールについて、他市の事例を参考にすれば、基本構想で再編統合を決定後、基本計画、基本設計、実施設計に一定時間を要し、個別事情や諸条件も異なるが、開院までに最短でも5年程度は必要となる。再編が決定した場合はスピード感を持って改革を推進したい。(森市長)

子どもの権利

子どもの権利を基本とする条例制定の検討を

議員 近年の子どもを巡る様々な課題から国では省庁設置や基本法制定の動きがあるが、国に先駆け子どもの権利等を中心とする条例を制定する自治体が増加している。子どもが主体者として尊重される条例制定の考えを伺う。

今後の法制定の動きに注視し必要な対応を検討

市 本市では、「三田市人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を目指す条例」があり、対象はすべての人としており子どもも含まれる。国の今後の法制定の動きに注視し、市として必要な対応を検討したい。(森市長)

災害対策

小中学校体育館の空調設置の早期検討を

議員 教育の場であり避難所でもある学校体育館は、猛暑や頻発する災害対策として空調設置が喫緊の課題であり、これまでの質問でも触れてきた。現在、各地で設置が進められており本市も着実に設置が進むよう検討すべきでは。

学校再編計画を考慮し優先順位を定め順次検討

市 小中学校体育館の空調設置は、学習環境等の向上及び避難生活の環境改善につながると考えている。今年1月策定の「さんだ防災強化プログラム」に示したとおり、学校再編計画を考慮し優先順位を定め、順次実施検討に入りたい。(森市長)

他の質問 ●新しいまちづくりの推進に向けた明確な姿勢の提示について ●新型コロナウイルス感染症対策について

市民の会

肥後 淳三 議員



都市計画

JR新三田駅周辺の活性化対策を

議員 JR新三田駅周辺の福島土地区画整理事業は、東側区画で一定の立地が進んできているが、西側区画の立地が進んでいない。区画整理用地の更なる土地利用を進める上で現行の建ぺい率(60%)や容積率(200%)では、三田市の目指す駅前のにぎわいや人口増加は難しいと考える。活性化対策について市の考えを伺う。

令和4年度に土地利用のあり方を見直したい

市 JR新三田駅周辺は、駅東側ロータリーの供用開始などまちとしてのポテンシャルが高まるものと期待している。三田の第二の玄関口としてにぎわいと活力ある都市拠点とするために商業・業務機能に加え、新たに居住機能等を誘導する土地利用を図る必要がある。そのため令和4年度から建ぺい率や容積率等、将来のまちづくりを見据えた都市計画の見直しを行う。(濱田副市長)

SDGs

海洋プラスチックごみ汚染問題、7市で連携を

議員 SDGsにおける海洋プラスチックごみ汚染問題は、海域に接する自治体だけでなく武庫川流域の自治体も取り組むべきであると考え。武庫川流域7市に呼びかけ、連携してこの共通課題に取り組めないか。

県や流域自治体と連携して取り組みたい

市 SDGsという大きな視点で活動を推進していくことは非常に大切であると考えており、県や武庫川流域自治体7市で組織する「武庫川流域環境保全協議会」と調整し、連携した取組を実現したい。(森市長)

教育支援

教育現場に多言語連絡帳の導入を

議員 教育現場では、教員と外国語を母語とする保護者とのコミュニケーションが課題となってきた。総務省で多言語連絡帳アプリが開発されているが、教育現場で早期に導入してはどうか。

多言語翻訳アプリの積極的な活用を努めたい

市 グローバル化が進む社会において、母語による意思疎通が図れることで、保護者は安心して子どもを登校させることができる。質問の趣旨を踏まえ、児童生徒のタブレット端末にインストールされている多言語翻訳アプリなども積極的に活用していく。(鹿嶽教育長)

他の質問 ●認知症予防対策について ●三田市をPRするサンタクロースや鬼の活用について ●ペットのマナー講習会とドッグランの整備について